

# I. 感染対策チーム（ICT）



## 【Clean handキャンペーン】

平成17年より開催しているが看護師以外の参加率が低く、病院全体の対策としては機能していないことが問題であった。そこで平成22年よりICTを中心に医師、看護師、薬剤師、検査技師（細菌、放射線科）、リハビリテーション部、栄養部、事務職などによる約30名のプロジェクトチームを作成し、多職種による全病院的なキャンペーンの運営にあっている。「蛍光塗料による流水手洗い」、「アルコール手指消毒」を隔年毎に実施している。29年度は蛍光塗料による流水手洗いの洗い残し部位の実技手技確認と自己評価を実施し、その後手指衛生に係るレクチャーを行った。（写真）。

参加者は2,569名であり、全スタッフの93.8%の参加が得られた。職種別では常勤医師604/669名（90.3%）（教授 96.9%、准教授・講師 92.1%、助教・病院助手 89.2%、レジデント・研修医 88.5%、非常勤医師 49.7%）、看護師1,055/1,116名（94.5%）、その他のメディカルスタッフ513/535名（95.8%）、事務職239/249名（95.9%）であった。医師の参加は、以前は10～20%で、24～27年度の4年間は約90%を維持し、28年度は83.5%に低下したため前年度参加率の低かった部署に対し、別途参加を促す働き掛けを行い29年度は再び90%を達成した（I-1）。

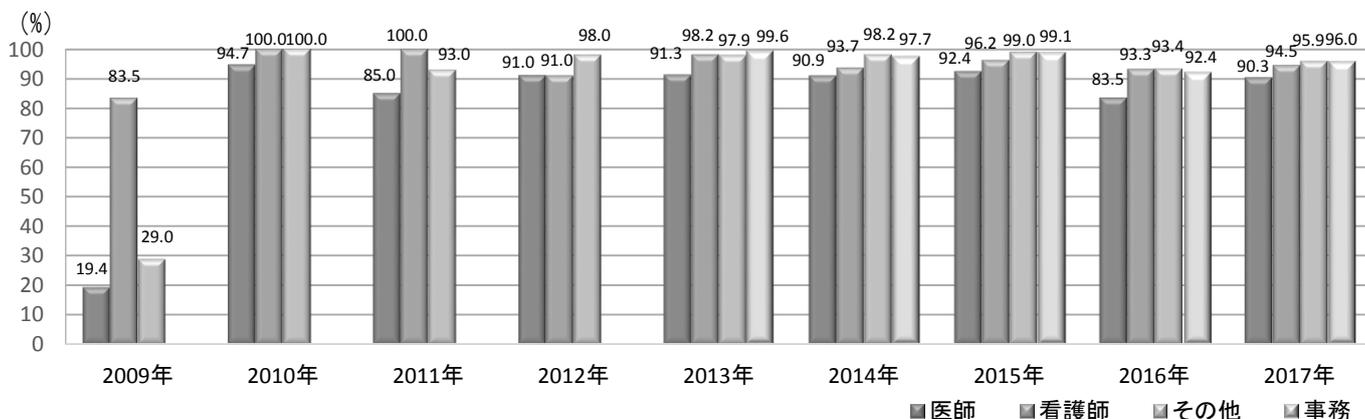
## 【環境ラウンド】

平成23年より看護部感染防止委員会によるラウンドを開始し（それまでは自主チェック）、平成24年9月から感染制御部によるラウンド、平成28年4月からICTの多職種によるラウンドを開始した。ラウンドは①病棟部門は1部署あたり1回/月、②侵襲的な手術・検査を行う外来、中央部門は1部署あたり1回/2か月、①②に該当しない部署は1回/年、定期的実施し、年間総ラウンド回数は病棟部門のべ312部署、中央部門78部署、それ以外の部署は27部署であった。

チーム医療の様子 -Clean hand キャンペーン-



I-1 Clean handキャンペーン職種別参加者割合の推移



全体参加率	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
	1,776 (86%)	2,168 (88%)	2,291 (90%)	2,395 (92%)	2,452 (91%)	2,411 (94%)